

国語 解答例

問一 ①指標

②観念

③断念

④こうさく

⑤ずいぶん

⑥くうきよ

⑦典型

⑧怪獣

⑨介入

⑩避ける

⑪つな

⑫ぎょうしゅう

⑬じじつ

⑭むい

問二 Aあるいは、 Bたとえば、 Cたしかに、 Dつまり、 Eさりとして、

問三 (a) × (b) ○ (c) ○ (d) × (e) ○

問四

さまざまな葛藤と対決し、主体的な選択の結果、獲得した時間を過ごすことは、充実した時間体験となる。(48字)

・「葛藤」、「充実した時間」という表現は、必須とする。

問五

(解答例1) 個々の子どもの「いのち」の流れはその個性にしたがっているものだ。私たちはこちらからおしつけるよりも、その子どもたちのいのち、つまり、子どもたちがもつ個人の時間がどのように流れるかを、見守ってみてはどうだろうか、ということ。(112字)

(解答例2) 子どもの成長を受動的に待つのではなく、何もないように見えながら、その裏で時が熟していくの信じ、退屈せずに主体的に子どもの「いのち」の躍動する「とき」を待ち、それを子どもたちと共有すること。(95字)

・「子どものいのち（時間）を見守る」、「子どもの成長を主体的に待つ」といった表現が入っていることを正答の条件とする。

問六

親や教師など、子どもたちをとりまく大人は、子どもの成長の瞬間、つまり「いのち」の躍動する瞬間を根気強く、主体的に待つ必要があると気づかされた。ややもすれば、「効率」が優先され、結果のみが尊重され、常にせかされている風潮があるなか、子どもたち一人一人がもつ時間、言い換えれば個々の子どもの「いのち」の流れを見守り、かけがえのない経験のひとつひとつを共有することの教育的意義を学ぶことができた。(195字)

・『いのち』の躍動、「主体的に待つ」の二つの語句が用いられていること。

・表記、字数（適切であるか）

・内容（文章で表現されている内容についてよく理解し、自分の問題として考えているかどうか）